

第 44 回 発電用設備規格委員会 核融合専門委員会 議事録

1. 日 時：2013 年 11 月 13 日（水）14:00～17:00

2. 場 所：電力中央研究所 大手町ビル 7F 第 1 会議室

3. 出席者：（委員 10 名、代理者 2 名、欠席者 1 名、オブザーバー 5 名）

高橋委員長（電中研） 橋爪副委員長（東北大） 中平幹事（原子力機構） 中曽根（東理大）
井岡（東芝） 清水（三菱重工） 相澤（日製鋼） 宮口（IHI） 鈴木（中部電力） 船越（日
鑄鍛）

代理者：高野（原子力機構 中嶋代理） 佐藤（早稲田大 川田代理）

欠席者：土屋（金属技研）

オブザーバー：迎井（神戸製鋼） 谷川（原子力機構） 酒瀬川（原子力機構） 廣瀬（原子力機構）
齋藤（原子力機構）

事務局：釜田

（以上敬称略）

4. 配布資料

- 資料 44-1 第 44 回 核融合専門委員会 議事次第（案）
- 資料 44-2 第 44 回 核融合専門委員会配布資料リスト
- 資料 44-3 第 43 回発電用設備規格委員会 核融合専門委員会 議事録（案）
- 資料 44-4 第 66 回発電用設備規格委員会 議事録（案）
- 資料 44-5-1 核融合専門委員会投票(No.24)の結果の通知について（3 分科会統廃合）
- 資料 44-5-2 核融合専門委員会投票(No.25)の結果の通知について（規格委員会等での資料の取扱い
内規）
- 資料 44-6-1 超伝導マグネット構造規格（2013 年版）のご審議における確認資料
- 資料 44-6-2 超伝導マグネット構造規格（2013 年版）に対する意見受付結果
- 資料 44-7 第 1 回非金属構造物分科会議事録（案）
- 資料 44-8-1 核融合専門委員会の委員について
- 資料 44-8-2 非金属構造物分科会の委員について
- 資料 44-8-3 金属構造物分科会の委員について
- 資料 44-9 F82H の材料開発状況について
- 資料 44-10 「補足倫理規定」書面投票結果とコメント対応案

5. 議事

（1）議事次第の承認、資料の確認【資料 44-1、資料 44-2】

議事次第の説明及び資料の確認が行われ、議事次第が承認された。

（2）前回議事録案の承認【資料 44-3】

資料 44-3 に基づき、前回議事録案の紹介が行われ、(6-1)誤字訂正(標準・企画センター ->
標準・規格センター)、(6-3)次回開催予定の文章を修正するようコメントがあった。その他議
事録内容については特に修正点はなく、議事録案が承認された。

（3）第 66 回発電用設備規格委員会報告【資料 44-4】

資料 44-4 に基づき、核融合専門委員会に関連した第 66 回発電用設備規格委員会での審議内容
の紹介が行われた。

(4) 報告事項

(4-1) 投票結果報告【資料 44-5-1、資料 44-5-2】

資料 44-5-1 に基づき、「3 分科会の廃止と金属構造物分科会の設置に関する承認」に対する投票の結果として、委員総数の 5 分の 4 以上（11 票以上）である 13 票の投票があり、本投票が成立したこと、投票数の 3 分の 2 以上（9 以上）である 13 の賛成票があったため投票議案が可決したことが報告された。

また、「規格委員会等での資料の取扱い内規の提案に関する承認」に対する投票結果として、委員総数の 5 分の 4 以上（11 票以上）である 13 票の投票があり、本投票が成立したこと、投票数の 3 分の 2 以上（9 以上）である 11 の賛成票があったが、意見付反対票があったため、投票議案は可決とせず、提案者より反対意見への対応を行うこととなったことが報告された。

(4-2) 超伝導マグネット構造規格の発行に関する報告【資料 44-6-1、資料 44-6-2】

10 月 4 日に行われた、標準・規格センターの運営・企画委員会において、資料 44-6-1、資料 44-6-2 に基づき、超伝導マグネット構造規格（2013 年版）の審議経過と規格案への意見受付結果の説明を行い、規格発行の承認を受けたことが報告された。

また、規格出版の定価、および最低印刷部数について議論があり、これは 11 月 20 日（水）に出版センターにて決定されることとなった（依頼元にて用意すべき資料等の確認要（対応：事務局））。

(4-3) 非金属構造物分科会報告【資料 44-7】

資料 44-7 に基づき、非金属構造物分科会報告として、第 1 回非金属構造物分科会議事録案の紹介が行われた。

核融合専門委員会には、非金属構造物になじみのない委員も多数いるため、第 1 回分科会にて説明のあった資料などをまとめて、検討対象がどのようなものかを次回専門委員会にて報告することとなった。

(5) 審議事項

(5-1) 核融合専門委員会の新任について【資料 44-8-1】

資料 44-8-1 に基づき、事務局から新委員として迎井氏（神戸製鋼）と古瀬氏（大同特殊鋼）の推薦があったことが報告され、迎井氏と古瀬氏の新任について審議依頼があった。審議の結果、迎井氏と古瀬氏の新任が出席委員の全員一致で承認された。

(5-2) 非金属構造物分科会委員の新任について【資料 44-8-2】

資料 44-8-2 に基づき、事務局から新委員として阪口氏（三菱重工）の推薦があったことが報告され、阪口氏の新任について審議依頼があった。審議の結果、阪口氏の新任が出席委員の全員一致で承認された。

(5-3) 金属構造物分科会委員の新任について【資料 44-8-3】

資料 44-8-3 に基づき、事務局から新委員として中嶋氏（原子力機構）、高野氏（原子力機構）、井口氏（原子力機構）、古瀬氏（大同特殊鋼）、峯村氏（東芝）、片山氏（東芝）、大橋氏（三菱電機）、岡野氏（三菱重工）、西村氏（三菱重工）、佐野氏（三菱重工）、宇野氏（金属技研）、才田氏（大阪大学）、荒川氏（IHI 検査計測）、古村氏（発電設備技術検査協会）の計 14 名について推薦があったことが報告され、上記 14 名の新任について審議依頼があった。審議の結果、14 名

全員の新任が出席委員の全員一致で承認された。

(6) その他

(6-1) F82H の材料開発状況について【資料 44-9】

資料 44-9 に基づき、低放射化フェライト鋼である F82H について、開発の背景と目標や開発スケジュール、材料開発における要求事項や中性子照射効果の評価手法、規格化方針案等の活動状況、F82H 開発研究の現状、および照射効果に係る研究開発の状況について報告された。F82H の規格自体の構成は超伝導マグネット構造規格等の材料規格と同様のものとする事で問題ないが、対象とする原型炉の設計条件が定まっていけないようなので、規格として必要なアウトプットの全体像が定まらないとの意見があった。規格の全体構成も含め、どのようなアウトプットとするのか、金属構造物分科会にて方針を決定することとなった。

(6-2) 「補足倫理規定」書面投票結果とコメント対応案について【資料 44-10】

資料 44-10 について、「補足倫理規定」の書面投票の結果寄せられたコメントに対する回答案であること、表現上の変更が主なので特に説明は不要とし、各委員は参考として目を通し、意見のある場合は資料提出者の宮口委員まで連絡することとした。

(6-3) 次回開催予定

次回専門委員会は、2014 年 2 月 21 日（金）13 時 30 分から電力中央研究所大手町ビルにて開催する。

以上